

平成29年度 第2回 八雲町立図書館協議会日程

【日時】 平成30年1月16日(火)
午後4時00分

【場所】 八雲町立図書館 2階 集会室

1. 開会

2. 挨拶 八雲町教育委員会教育長 田 中 了 治

3. 議事 議件審議

※議案「平成29年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧」参照

4. その他

5. 閉会

平成29年度

第2回 議案

日時/ 平成30年1月16日(火)
午後4時00分

場所/ 八雲町立図書館
2階 集会室

八雲町立
図書館協力
議案
会

平成29年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧

区分	番号	件名	進行
報告	第1号	八雲町立図書館協議会委員の任命について	①
	第2号	平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について	③
	第3号	平成29年度 八雲町立図書館 施設利用状況について	④
	第4号	平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について	⑤
	第5号	平成29年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について	⑥
議案	第1号	八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について	②
	第2号	平成28年度 八雲町教育委員会事務事業評価について	⑦

八雲町立図書館協議会委員の任命について

Ⅰ八雲町立図書館協議会委員名簿（平成29年10月1日現在）

氏名	所属	備考 (今期任命経緯等)
石川 和子 <small>いしかわ かずこ</small>	八雲町文化団体連合会	再任
伊藤 一年 <small>いとう かずとし</small>	学識経験者	再任
太田 幸恵 <small>おおた さちえ</small>	やくも朗読サークル代表	再任
小林 幸子 <small>こばやし ゆきこ</small>	落部文化団体連合会	新任
見延 誠一 <small>みのべ せいいち</small>	落部小学校校長	再任
山中 久江 <small>やまなか ひさえ</small>	一般公募	新任

(任期：平成29年10月1日から平成31年9月30日まで)

平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について

(1)八雲町立図書館(本館) ※団体貸出を除く

	開館 日数	利用者数			貸出冊数					来館者数
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	AV資料	計	
4月	26	1,213	266	1,479	3,622	2,391	174	150	6,337	3,874
5月	24	1,049	231	1,280	3,241	2,120	182	112	5,655	3,457
6月	26	1,113	272	1,385	3,324	2,242	222	139	5,927	4,077
7月	27	1,198	308	1,506	3,531	2,301	223	170	6,225	4,556
8月	28	1,301	396	1,697	3,542	2,682	229	314	6,767	5,131
9月	21	1,040	249	1,289	3,071	1,917	204	162	5,354	3,745
10月	27	1,144	367	1,511	3,316	2,559	212	172	6,259	4,565
11月	26	1,122	303	1,425	3,209	2,611	215	105	6,140	4,336
12月	24	993	249	1,242	3,346	2,660	180	94	6,280	3,546
1月				0					0	
2月				0					0	
3月				0					0	
合計	229	10,173	2,641	12,814	30,202	21,483	1,841	1,418	54,944	37,287
前年度	228	10,676	2,947	13,623	31,027	20,030	2,211	1,629	54,897	36,938
比較	1	△ 503	△ 306	△ 809	△ 825	1,453	△ 370	△ 211	47	349

(2)移動図書館 ※団体貸出しを除く

	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	53	111	164	83	459	542
5月	60	181	241	112	664	776
6月	70	166	236	98	619	717
7月	65	178	243	121	657	778
8月	31	104	135	70	384	454
9月	46	137	183	94	544	638
10月	53	139	192	100	591	691
11月	55	141	196	131	581	712
12月	49	158	207	112	690	802
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	482	1,315	1,797	921	5,189	6,110
前年度	633	1,132	1,765	963	5,336	6,299
比較	△ 151	183	32	△ 42	△ 147	△ 189

(3)団体貸出 ※本館・移動図書館合計

	団体数	一般書	児童書	計
4月	27	234	533	767
5月	25	231	553	784
6月	39	245	939	1,184
7月	23	233	583	816
8月	30	241	488	729
9月	33	231	875	1,106
10月	33	261	760	1,021
11月	28	238	580	818
12月	26	221	678	899
1月				0
2月				0
3月				0
合計	264	2,135	5,989	8,124
前年度	398	2,202	4,128	6,330
比較	△ 134	△ 67	1,861	1,794

(4)熊石総合支所図書室利用状況

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	36	2	38	100	17	117
5月	26	1	27	65	11	76
6月	25	3	28	54	21	75
7月	21	1	22	64	11	75
8月	8	0	8	16	2	18
9月	19	0	19	54	8	62
10月	24	0	24	44	11	55
11月	33	1	34	79	6	85
12月	22	0	22	65	3	68
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	214	8	222	541	90	631
前年度	333	29	362	792	246	1,038
比較	△ 119	△ 21	△ 140	△ 251	△ 156	△ 407

(5)相互貸借（他館との資料貸し借りの状況）

	貸出冊数(八雲⇒他館)				借受冊数(他館⇒八雲)			
	一般書	児童書	雑誌	計	一般書	児童書	雑誌	計
4月	10	9	0	19	15	6	0	21
5月	15	6	1	22	31	8	2	41
6月	9	1	2	12	32	7	2	41
7月	2	1	0	3	40	5	0	45
8月	17	5	0	22	29	4	7	40
9月	5	0	0	5	43	7	9	59
10月	7	1	0	8	31	0	4	35
11月	6	5	1	12	36	7	2	45
12月	3	0	2	5	23	2	0	25
1月				0				0
2月				0				0
3月				0				0
合計	74	28	6	108	280	46	26	352
前年度	61	20	3	84	285	35	3	323
比較	13	8	3	24	△ 5	11	23	29

(6)Web公開 / メールリクエスト・Web予約 利用状況

	人数	冊数
4月	33	69
5月	23	59
6月	34	83
7月	37	95
8月	26	39
9月	21	32
10月	20	45
11月	27	50
12月	34	67
1月		
2月		
3月		
合計	255	539
前年度	202	508
比較	53	31

平成29年度 八雲町立図書館 施設利用状況について

I 平成29年度 八雲町立図書館 施設利用状況 (12月末日現在)

		集会室 (2F)		視聴覚ホール (2F)		ホール展示
		件数	人数	件数	人数	件数
4月	H29	6	74	11	53	1
	H28	8	80	15	98	2
5月	H29	6	66	14	123	2
	H28	7	164	9	42	2
6月	H29	13	93	14	172	2
	H28	10	139	17	197	3
7月	H29	10	110	13	155	2
	H28	9	111	12	200	2
8月	H29	7	66	17	175	2
	H28	7	66	12	84	2
9月	H29	15	150	20	224	1
	H28	14	119	13	145	2
10月	H29	10	140	12	197	2
	H28	7	61	15	252	2
11月	H29	10	113	16	169	2
	H28	8	101	17	232	2
12月	H29	7	113	7	22	1
	H28	4	87	16	133	1
1月	H29	0	0	0	0	0
	H28	6	53	10	46	1
2月	H29	0	0	0	0	0
	H28	7	76	13	49	1
3月	H29	0	0	0	0	0
	H28	4	36	13	73	0
合計	H29	84	925	124	1,290	15
	H28	74	928	126	1,383	18
	H29-H28	10	△ 3	△ 2	△ 93	△ 3

報告第 4 号

平成29年度

八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について

Ⅰ平成29年度 八雲町立図書館 (12月末日現在)

事業名	参加人数	事業内容
おたのしみ えいが会	87人	毎月第2土曜日
おたのしみ こうさく会	163人	毎月第2土曜日
おたのしみ どうわの日	177人	毎月第3土曜日
映画上映会	84人	一般対象 毎月第4土曜日
ブックスタート	57人	八雲地域 毎月9か月相談日 熊石地域 乳幼児相談日
おはなしひろば	121人	毎月2回 館内「おはなしのへや」での読み聞かせ
青空図書館	165人	・6/17(土)八雲町立図書館前庭・7/22(土)落部レクリエーションセンター前庭 ※外での読書・図書貸出・読み聞かせ・ゲームなど
臨時特別開館	—	祝日・休館日(月)での臨時開館 ※4月▶9月 計6日 / 10月▶3月 計6日間
①雑誌リサイクル市 ②古本リサイクル市	—	①7月4日(火)▶9日(日) ②10月31日(火)▶11月19日(日) 除籍雑誌・蔵書本、ほか不要本の有効活用
集会室(学習室)一般開放	80人	八中・八高の定期試験時前を目途に一般開放 ※閲覧室満席状態の緩和案
ロビー朗読会	59人	7月1日(土) / 12月2日(土)
劇団公演	120人	6月24日(土) 「おたのしみ劇場 ガウチョス」 人形劇公演
第41回文学史跡めぐり	28人	7月21日(金) ニセコ周辺(有島記念館/高橋牧場/各道の駅 他)
夏休みおりがみひろば	20人	7月31日(月)
出前読み聞かせ会	60人	①(乳)幼児団体対象 2件 ②町内学校対象 3件
ブックマラソン(スタンプカード)	225枚	児童対象 貸出冊数相当のスタンプ数に応じた記念品贈呈
学校図書館担当者会議	13人	7月13日(木) 支援内容及び落部小図書室配架整理顛末説明
図書館フェスティバル	300人	10/7(土) 1日目 きっと知らない風野又三郎 一宮澤賢治をモチーフにー ①アコーディオン演奏と対談/佐藤国男氏・長坂奈美氏 ②第6回幻灯朗読会「風野又三郎」/やくも朗読サークル ※ほか、佐藤国男木版画展 10/14(土) 2日目 ①サイエンスショー サイエンス・サポート図書館 科学楽しみ隊 井上千加子氏 ②映画上映会 ③工作会「プラ板」「クレイ(粘土)スイーツ」 ※ほか、佐藤国男版画展・しかけ絵本展示
読書感想文・感想画コンクール表彰式	70人	・11月28日(火)表彰式 ・「光陰51号」発行 (270部) ・感想文 158点 / 感想画 76点 (合計 234点)

Ⅰ平成29年度 熊石総合支所図書室

事業名	参加人数	事業内容
クリスマス絵本展	—	12月8日(金)~12月25日(月)

平成29年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について

■平成29年度「読書感想文・感想画コンクール」審査結果

■鶴田知也賞 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
感想文部門	なぜ本当のこと言わないの・・・	浜松小学校	3	北村 円栞
感想画部門	食べ物が無い人に、自分の分までわかる二宮金じろう	落部小学校	4	藤野 日華莉

■最優秀賞 6篇

■感想文部門 4篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	おもしろかったかいじゅう	落部小学校	1	住吉 寧々
小学校高学年の部	命の大切さ	山崎小学校	6	沢田 空
中学校の部	夢とは何か	八雲中学校	2	竹内 凜
高校・一般の部	伝える	八雲高校	2	笹谷 祥暉

■感想画部門 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	カンボジアのケオくん	東野小学校	2	古田 隆也
小学校高学年の部	おさかなポスト	落部小学校	5	吉田 庵史

■優秀賞 15篇

■感想文部門 10篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	もしもこんなバスがあったら	熊石小学校	1	伊勢谷 空愛
	おもしろすぎるたんてい	熊石小学校	1	橋達 由太
小学校中学年の部	みんなとつよよに・・・	浜松小学校	4	林 昊央
	干したから・・・を読んで	山崎小学校	3	後藤 楓賀
小学校高学年の部	お父さんに会いたいな	野田生小学校	5	飯村 咲紀
	自分の気持ち	落部小学校	6	山戸 いろは
中学校の部	私はマララを読んで	野田生中学校	2	有薗 竜輝
	「走れメロス」を読んで	八雲中学校	1	大井 莉瑚
高校・一般の部	自分の弱さに打ち勝つために	八雲高校	1	渡部 真緒
	「置かれた場所で咲く」ということ	八雲高校	2	高橋 杏菜

■感想画部門 5篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	のろまなローラーを読んで	東野小学校	1	柴田 康佑
	なかよくなったぼんたとぼんこ	東野小学校	2	坂本 彩姫
小学校中学年の部	しずかな夜の図書館	落部小学校	3	佐藤 海冬
	あせだくおばけ	落部小学校	3	村上 亜美
小学校高学年の部	素敵なた花火	落部小学校	6	池内 流輝
	※該当なし	—	—	—

議案 1 号

八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について

八雲町立図書館協議会運営規則第2条第2項の規定に基づき、会長・副会長を選任する。

記

会長

(任期:平成31年9月30日まで)

副会長

(任期:平成31年9月30日まで)

平成30年1月16日

議案第 2 号

平成28年度実施分 八雲町教育委員会事務事業評価について

平成28年度 八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

平成 30 年 1 月 日 作成		担当課 (部局)	八雲町立図書館	係	管理係
施策の体系	章	6	学ぶ心を培い豊かな人間性を育むまちづくり	施策コード	621302
	節	2	生涯学習	法的	法令 条例 その他
	細節	1	生涯学習の充実	根拠等	
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○ 直営 委託 その他
	施策	2	インターネットを活用した蔵書情報の公開	方法	
評価事務事業名		図書館コンピュータシステム更新事業			

事業概要
 現八雲町立図書館オープン時(平成11年度)に図書管理システム導入。業務(図書管理・検索・受払)及び利用者(予約・貸出・返却)の利便性を目的に、平成25年度にはWEB公開による予約受付、平成28年度にはセキュリティ強化を経て時節の要請を踏まえながら迅速な蔵書処理を図るため更新を継続。

事業の目的	(1)対象 (誰を、何を対象としているのか)	(3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか)
	図書館利用者	町HPを利用し蔵書のWEB公開を導入。利用者が各自の端末(PC・携帯等)を通じて予約・閲覧・貸出等に供する希望図書の蔵書情報が得られ、来館前に双方の準備が図られる等スムーズなサービス提供を可能にする。
	(2)意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 蔵書12万冊から希望に応じた抽出作業を迅速に図る利用者サービスの向上	


1 必要性	(1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か)	計	1	点
	○ ①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1	点	⑥管理・運営に関する事業。 1点
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1	点	追加事由 1点
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1	点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1	点	利用者に向けた蔵書情報の発信により、希望図書の抽出・提供業務の効率化が図られている。
	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1	点	
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等	計	2	点
	○ ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1	点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外) -
	○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1	点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。
	○ ③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1	点	PC・携帯等の普及に伴い、利用者側のアクセスを可能にする事で希望図書の情報がリアルタイムで得られ、図書利用に向けた利便性が図られている。
④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1	点		
追加事由	1	点		

2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	計	4	点
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1	点	○ ⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。 1点
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1	点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。
	○ ③他に類似、重複した事業はない。	1	点	希望図書の情報を得た上での来館が想定され、予約・リクエスト・情報収集作業等、資料提供におけるスピーディーな対応が可能となる。
	④町民参加の意識高揚が図られている。	1	点	

3 達成度	(1) 達成度の測定	計	1	点			
	区分	指標 (算式)	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H28当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 蔵書冊数 (算式)	冊	115,038	116,208	119,321	118,000
		指標② 利用者数 (算式)	人	21,712	21,859	19,927	21,000
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① WEB公開リクエスト人数 (算式)	人	177	222	281	260
		指標② WEB公開リクエスト冊数 (算式)	冊	462	672	706	750
	○ ①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1	点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1	点	蔵書公開機能を活用した利用サービス件数が増加傾向にある。			
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1	点				

4 効率性	(1) 事業費の推移		計		1		点																						
	区分	単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H28事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	○	一般財源額																			
	事業費	千円	2,227	1,287	5,429			低下している		1点																			
	(財源内訳)					区分(節)	金額(千円)	変わらない		0点																			
	国・道費	千円				備品購入費	4,050	○	上昇している	-1点																			
	地方債	千円				役務費	735	説明	システム・セキュリティ対策等、時節の要請に応じた機能向上による (次年度以降ランニングコスト 1,469千円)																				
	その他	千円				その他	644																						
	一般財源	千円	2,227	1,287	5,429																								
(2) 手法の効率化		計		1		点																							
○		①現在の手法は、コスト削減にも密着している。		1点		④法令等で実施内容や手法等が定められる。		1点																					
		②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。		1点		(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																							
		③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。		1点		高度なセキュリティ対策を施した総合行政ネットワーク(LOTRAN)に連動可能な道内唯一の図書館システムを導入。																							
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高		高 達成度 + 効率性 低																		
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効率性</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性		3	7	2	有効性	4		3	達成度	1	1	4	効率性			0		1 2 3 4 5 6 7 8~	
	項目	点数																											
1	必要性	3	7																										
2	有効性	4																											
3	達成度	1	1																										
4	効率性																												
担当課評価		A		※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。																									
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)		○ 現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																								
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																								
			事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																								
			事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																								
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																								
			必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																								
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他																									
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																			
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響		⇒		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																			
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		機能的向上・セキュリティ強化といった時節の要請に応えるバージョンアップにより更新上のコストアップは見込まれるものの、蔵書管理上の業務効率性、利用者図書情報提供サービスの利便性、いずれの視点からもスピーディな対応を可能にしてきた図書管理システムの更新は効果的な運営を図る上で必要と考える。		今後の改善策等を具体的に記入します。																							

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価		☆コメント
			

平成28年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

平成 30 年 1 月 日 作成		担当課 (部局)	図書館	係	奉仕係
施策の体系	章	6	学ぶ心を培い豊かな人間をはぐくむまちづくり	施策コード	6.2.1.3.4
	節	2	生涯学習	法的	法令 条例 その他
	細節	1	生涯学習の充実	根拠等	
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○ 直営 委託 その他
	施策	4	子どもの読書活動の推進	方法	
評価事務事業名	おはなしひろば				

事業概要	図書館職員による定期的な読み聞かせ事業を行うことで、職員と図書館をもっと身近に感じてもらう、来館機会を増やす。また、小学校が早く終わる日に実施することで、子どもたちの居場所づくりを行う。							
事業の目的	(1)対象 (誰を、何を対象としているのか)	(3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか)						
	乳幼児・児童とその保護者	毎月定例事業として第2・4水曜日の16時～30分間で実施。季節や行事に合わせた絵本を中心に、手遊びや紙芝居・大型絵本等を組み合わせ、職員がプログラムを組み、読み聞かせを行う。						
事業の目的	(2)意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	読み聞かせを通じて本に興味を持ってもらって親子で読書に親しむきっかけを作るとともに、図書館の利用促進を図る。						
	(1)関与の根拠(町が行う必要がある事業か)	計	2	点				
1 必要性	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点				
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	○ 追加事由 読書教育環境の整備	1点				
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	子どもと保護者の読書への関心を高めるきっかけづくり。					
	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点				
2 有効性	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)					
	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
	○ ③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	読書体験を増やし、読書に親しむきっかけづくりを行う。また、小学生の放課後の居場所づくりとしての側面もある。					
	④限られた予算の中でも、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
	(1)成果・協働に対する事業の有効性	計	2	点				
3 達成度	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点				
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
	③他に類似、重複した事業はない。	1点						
	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標 (算式)	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H28当初計画	
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 回数 (算式)				17	24	24
		指標② (算式)						
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① 参加者数 (算式)				66	91	100
		指標② (算式)						
○ ①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。						
○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	定期開催を行うことで、毎回楽しみにしているという声も聞かれるようになった。						
○ ③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点							

4 効率性	(1)事業費の推移 計 0 点																																																																																																																				
	区分	単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H28事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																												
	事業費	千円				区分(節)	金額(千円)	低下している	1点																																																																																																												
	国・道費	千円						〇 変わらない	0点																																																																																																												
地方債	千円						上昇している	-1点																																																																																																													
その他	千円						説明																																																																																																														
	一般財源	千円																																																																																																																			
(2)手法の効率化 計 2 点																																																																																																																					
〇	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。				1点																																																																																																											
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																															
〇	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	図書館司書2名で対応している。																																																																																																															
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		必要性+有効性						高達成度+効率性 低																																																																																																										
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効率性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2		3 達成度	1	4 効率性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">低</th> <th colspan="6">必要性+有効性</th> <th colspan="2">高</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>6</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>G</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〇</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>						低		必要性+有効性						高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	6	5			G				A				4						〇					3											2				D				B			1											0											-1									
項目	点数																																																																																																																				
1 必要性	3																																																																																																																				
2 有効性	2																																																																																																																				
3 達成度	1																																																																																																																				
4 効率性	2																																																																																																																				
低		必要性+有効性						高																																																																																																													
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	6	5																																																																																																											
		G				A				4																																																																																																											
					〇					3																																																																																																											
										2																																																																																																											
			D				B			1																																																																																																											
										0																																																																																																											
										-1																																																																																																											
										-2																																																																																																											
担当課評価		A																																																																																																																			
<p>※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>※評価は、次のA~Dによります。</p>																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)																																																																																																																				
	〇	現状のままで事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																															
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)																																																																																																																				
	事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																
	事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																				
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)																																																																																																																					
廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																													
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇄ 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他																																																																																																																					
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																
	図書館と図書館職員をもっと身近に感じてもらうことができるよう、職員での読み聞かせを今後も継続して行ってきたい。また、居場所としての図書館の存在を確立していくことも今後さらに求められることから、より楽しく居心地の良い場所になるような事業を行っていく。				平成29年度からは、第4週を水曜日16:00ではなく金曜日11:00からに変更し、より乳幼児とその保護者が来館しやすい時間帯に実施をシフトさせた。また、マンネリ化を防ぐためにも職員のローテーションを見直し、手遊びや選書の工夫もさらに行う。																																																																																																																

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価		☆コメント
	